

第 2 回神戸市男女共同参画審議会において事務局から未回答であった意見について

1. 議題 1 ～ 4

No.	意見	回答・対応状況
1	診療待ち期間が 1～2 か月と聞くが、心療内科の受診環境を調査等しているか。	一般的に心療内科の初診が 1～2 か月待ちであるとの話は聞くが、DV 被害者から 1～2 か月待ちに関する困りごとの相談は受けていない。保護命令発令に必要な診断書には「DV の影響」という記載が必要であり、DV 被害の説明が難しい被害者が多い中で、医療機関への同行支援により適切に繋がるよう連携したい。
2	経済的自立が DV 被害者の中長期的な自立支援に繋がるため、アフターケアにその観点を含めるべきである。	「既存の福祉施策の十分な活用と関係機関との連携による自立生活支援の充実」と記載変更 困難な問題を抱える人への「支援の生活・住宅の困窮等による経済・住宅問題への支援」により包括的に支援していく旨、次期計画に記載する。 ※P13
3	DV 計画と男女共同参画計画を一体的に策定する意義は、DV は人権問題であることを示すことであり強調するべきである。	・DV は重大な人権侵害であるという視点を持って啓発していく必要がある旨、次期計画に記載する。 ※P12 ・DV に関する施策を明確にするために、男女共同参画や困難女性に関する施策と分けて記載する。 ※P13

2. 議題 5（第 6 次計画に関するもの）

No.	意見	対応状況
1	項目の一覧性を高めるために目次などを追加してはどうか	施策の体系図を記載。 ※P8
2	阪神淡路大震災で女性が男性より多く亡くなっている。経済的・構造的な課題の解決が防災力を高めることにもつながるため、被災都市であることにも鑑み追加してはどうか。	意見の観点も踏まえて記載。 ※P12
3	P3 以降のグラフを読み取りやすくするための工夫が必要	次の 2 項目に分類して指標を整理。 ※P3～7 ①男女共同参画社会の実現状況を確認する客観的な指標（＝モニタリング指標） ②目標値の対象となる施策の進捗状況（＝取組施策）
4	LGBTQ の取り組みを反映するべき	性的マイノリティへの理解につながる取り組み施策を反映 ※P14
5	・DV に関する数値目標が必要ではないか ・数値目標の設定が不適切であるならば、その旨を記載してはどうか	DV の認識に関する市民意識調査結果をモニタリング指標として設定。 ※P18
6	困難な問題を抱えている女性はこども期からの問題を抱えており、こども期への支援が重要なため、子どもの育ちをどう支えるのかといった視点が必要。	意見を踏まえ、当該施策欄に、こどもが自身のことや命の大切さを知る機会・こどもを守る環境づくりを記載。 ※P14
7	女性相談員の支援力の向上と、支援対象者への効果的な支援方法の検討のためには、支援調整会議が必要。	関係者の相互理解や連携を深め、情報や支援方針の共有化を図る仕組みづくりについて記載 ※P14